

四日市市PTA連絡協議会
発行責任者：松本 和也

市P連ニュース

四日市市PTA連絡協議会事務局

〒510-8601 四日市市諏訪町1-5
四日市市教育委員会 社会教育・文化財課内
TEL.059-354-8238
連絡時間/月・火・木・金 9:30~15:30



会員みなさまの声をお待ちしております。
四日市市PTA連絡協議会事務局 TEL 059-354-8238 FAX 059-354-8308

会長あいさつ

四日市市PTA連絡協議会 会長 松本 和也



今年度も終わりに近づいて参りましたが、ご多忙の中、日頃より四日市市PTA連絡協議会の活動にご理解・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

また昨年初め頃から、新型コロナウイルスによる感染が全世界に拡がりいわゆるパンデミック状態を引き起こしました。人類の誰も経験したことのない、目に見えない敵に立ち向かう状況になり、1年が経った現在でも収束の目処が立っておりません。PTA活動におきましても、19世紀末(1900年頃)にアメリカで生まれ、1948年に「父母と先生の会」で日本全国の学校に普及してまいりましたが、長い歴史の中でも今回のようなウイルスによる混乱はなかったのではないのでしょうか。

さて、そういった状況が続く中、昨春を振り返ってみますと、日本国内で1月14日に初めての感染者が出て、その後全国に拡散され急増してまいりました。政府からは3月2日に全国の小・中・高校へ「臨時休業」が要請され春休みが無くなくなり、4月7日には7都府県に、4月16日には全国都道府県に「緊急事態宣言」が拡大され、この頃から世の中の動きがストップし始め、「密閉・密集・密接」の3密と、マスク着用、うがい、手洗いが当たり前になるようになりました。

一方、四日市市の対応はというと、全国に発令される前日の4月15日に、「早く市立の保育・子ども園・幼稚園・小・中学校に「臨時休業」が要請されました。5月14日には国の「緊急事態宣言」が見直された事に伴い、四日市市は5月18日から市立小・中学校で段階的な学校への登校を再開しました。(保育子ども園幼稚園は5月25日から再開)また、夏休みにおいても23日間という期間短縮が決定されました。

臨時休業の間、県市教育委員会・教職員の皆さまにおかれましては、子どもたちがいつでも園校舎に戻ってこれる様に準備して頂き、また学校再開時には感染防止策を子どもたち一人一人にご対応、ご尽力頂き心より感謝申し上げます。

また、保護者の皆さまにおかれましては、子どもが学校へ行けない事での学習の遅れ、運動不足など心配事がたくさんある中、子どもが自宅で過ごすことでお仕事も自粛、あるいは自宅からのリモートによるテレワーク勤務など慣れない「新しい生活様式」によるご苦労と、ストレスが溜まる日々ではなかったかとお察しします。

しかし「withコロナ」で考え方を改めてみますと、家族同士が触れ合える時間が出来、親子のコミュニケーションが取れる機会も増えたご家庭もあったのではないのでしょうか。コロナ禍で不安定な状況の中でこそ、私たち保護者はPTAという団体(保護者・教職員・地域)がつながって、子どもたちの明るい未来を築いて行くことが重要ではないかと思っております。

人と人の距離は離れていても、お互い心と心は寄せ合せて行きたいものです。今年度の市P連活動におきましても、コロナ禍の影響を受け、新旧役員引継ぎもままならない状況下で、6月に今年度の「定期総会」を書面に変え、集会を中止することから始まり、常任委員会(会長会)では初めての試みで、オンライン会議にてリモートと会場でのハイブリット開催を実施しました。また新たな取り組みとしてオンラインで高学年、市P連ホームページ開設など、過去のやり方とは異なる手段を模索して活動してまいりました。決して満足はしていませんが、活動ではありましたが、コロナウイルス感染状況と世の中(政府)の動きを常に注視し

つつ、会員の皆さまのご協力を得ながら進めることができた。今後もウイルスと共存せざるを得ない新しい生活の中、まだまだ課題はありますが、この1年間の貴重な経験を活かし、変化に対応できる市P連活動を続けて参りたいと思っております。会員の皆さまの更なるご支援をよろしくお願い致します。

総務委員会

総務委員会は各ブロック長(単P会長)と教職員代表の先生とで構成されたメンバーで、主に常任委員会(会長会)の司会進行やブロック会の運営に携わってまいりました。

今年度はコロナ感染防止のためオンライン開催となった常任委員会や、3ブロック制ブロック会など、初めての試みが多い中、皆で協力しあつて活動できたと思っております。ありがとうございます。

- 原田 努 (委員長・内部東小P)
- 丹羽 昌邦 (副委員長・川島小P)
- 井上 博仁 (副委員長・日永小P)
- 西尾 雅紀 (富田中P)
- 伊藤 健介 (朝明中P)
- 片山 祐一 (橋北小P)
- 柳 かつり (大池小P)
- 細谷 美紀 (常磐小P)
- 山中 美樹 (笹川中P)
- 伊藤 圭毅 (内部小P)
- 松本 和也 (市P連会長・西朝明中P)



中学校委員会

中学校委員会では今年度は「自分の進路と将来」をテーマにアンケート調査・集計をすることを目標に活動してまいりました。例年と異なる環境の中での委員会活動は2回、それ以外はメールや郵便などを利用して意思疎通をはかり、中学3年生の「夢」をテーマにアンケート調査を実施しました。結果は中学校便りに載せていますのでご覧下さいと思います。

アンケートにご協力頂いた各中学校の先生方・生徒の皆様有難うございました。そしてお忙しい中活動に参加頂いた委員の皆様1年間有難うございました。引き続き仲間に出席した事に感謝しております。

- 亀田 京子 (委員長・楠小P)
- 松井 順子 (副委員長・中部中P)
- 片山 美砂 (保々中P)
- 服部 洋美 (桜中P)
- 井上 一代 (西陵中P)
- 岩田久二雄 (保々中T)



小学校委員会

小学校委員会では、今年度「SNS・インターネット」をテーマに小学校委員会だよりの発行に向けて活動してまいりました。新型コロナウイルスにより例年より集まる回数が少なくSNSや通話などで協議してまいりました。ネットの長所・短所や家庭での約束やフィルタリングの方法など、気になる事をまとめ作成致しましたので、是非ご家庭でご読下さい。

委員の皆様のおかげで素晴らしい小学校委員会だよりの発行することが出来ました。お忙しい中1年間ご協力有難うございました。

- 田中 マキ (委員長・八郷小P)
- 角田 奈美 (下野幼稚園P)
- 山本 奈々 (三重幼稚園P)
- 中畑紗耶香 (楠北幼稚園P)



広報委員会

広報委員会の主な活動は、この市P連ニュースの発行と広報紙コンクールの開催です。

今年度は新型コロナウイルスの影響により、研修会講演会の中止が相次ぎました。市P連ニュースも紙面構成を変更せざるを得なくなり委員皆で相談して作り上げてまいりました。コンクールにはコロナ禍で行事等の縮小の中、各校・園・工夫され魅力いっぱい広報紙を多数応募いただきありがとうございました。どの作品も各校・園の個性があり子ども達の楽しそうな様子が伝わってくる素晴らしいものばかりでした。

大変な状況の中でしたが委員の皆様のご協力のおかげで楽しく活動させて頂くことができました。1年間ありがとうございました。

- 川井奈穂子 (委員長・三重西小P)
- 市川 稔規 (副委員長・大矢知興譲小P)
- 山中 聡美 (下野小P)
- 坂井 育子 (常磐西小P)
- 松井 茂雄先生 (桜中学校長)
- 森田 一哉先生 (高花平小学校長)
- 水谷 有子先生 (泊山幼稚園)

奥田恵理子(高花平小P)
馬林 靖恵(浜田小T)



顧問

市P連顧問として子どもたちの育成と健全な成長の為に学校園と保護者をつなぐ架け橋として、温かいご助言、ご指導を頂きました。

- 松井 茂雄先生 (桜中学校長)
- 森田 一哉先生 (高花平小学校長)
- 水谷 有子先生 (泊山幼稚園)

広報紙コンクール

令和3年2月20日(土)三沓教育会館に於いて2020年度四日市市PTA連絡協議会広報紙コンクール表彰式が新型コロナウイルスの影響により一部変更して開催されました。

最優秀賞・中日新聞四日市ホームニュース賞を受賞された学校には直接表彰状をお渡しし、その他入賞校・園には後日学校に表彰状を届けさせて頂きました。

ここに厳正なる審査の結果、入賞校・園のご報告をいたします。本年度は幼・小・中合わせて15校・園の応募がありました。コロナ禍で行事など縮小の中、各校・園工夫されて、子どもたちの様子やPTA活動を掲載されている、とても素晴らしい作品ばかりでした。広報紙を作成された皆様の思いが集結されていたように感じました。

- 最優秀賞 大矢知興譲小学校 「興譲」
- 中日新聞四日市ホームニュース賞 小山田小学校 「おやまだ」
- 優秀賞 羽津北小学校 「けやき」・西朝明中学校 「にしあさけ」
- 入選 内部幼稚園 「ちゅーりっぷ」・富田小学校 「しおかせ」
- 表紙部門賞 羽津小学校 「しでがの」・三重北小学校 「たけのこ」
- レイアウト部門賞 富洲原中学校 「TOMISUHARA」
- 企画部門賞 大谷台小学校 「大谷台」・羽津中学校 「かけはし」
- 表紙部門賞 三重小学校 「さぎそう」・大池中学校 「おおいけ!!」
- レイアウト部門賞 県小学校 「あがた」・富洲原小学校 「すずかけ」



新しい常任議員会の開催手法

会場とオンラインでのハイブリット開催



自然な流れと感じられました。開催するに当たっては、幾つかの問題がありました。まずはこれまで一度も行ったことがない手法で、実際に出来るのかどうか検証する必要があります。また、オンライン会議に慣れていない方もみえるので、オンラインと会場とのハイブリット開催としました。開催に当たっては事前にリハーサルを行い実施しました。

広がる新型コロナウイルスにより、常任議員会もオンラインでの開催が検討されました。社会的にも各組織でオンライン会議が盛んに行われている中で、

市P連ホームページ開設

今年度は新型コロナウイルスの蔓延に伴い、四日市市PTA連絡協議会・外郭団体の様々な催しが中止・延期となっていました。当協議会が主導で行っており

まず「高校展」は毎年好評を頂いております。対象者への負担など考慮しながら、なんとか実施できないかと開催関係者で協議した際に、オンデマンドで各高校の紹介動画を集め、ご紹介する特設サイトを開設する案が浮上りました。この時点では期間限定で特設サイトを開設するという案でしたが、これを機に当協議会のWEBサイトを立ち上げることを提案、関係者様のご賛同を得て、公式サイト内の「コンテンツ」として「オンデマンド高校展」を開設することにいたしました。

初めての試みですべてにおいて手探りでしたが、各高校のご担当者様、教育委員会の方々にも多大なご協力をいただき、高校展特設コーナーを開設することができました。公式サイトとしても今後、情報発信の新たな役割を担う媒体として、少しずつ内容を充実していければと考えています。当協議会の活動や役割について、PTA会員の皆様にもまだまだ周知されていないこともたくさんあります。私自身も本部署員として携わり、活動を通じて初めて知ったこともたくさんありました。



また、事務局を通じて行っている各単位PTAへの連絡などの、情報伝達のスピード化経費削減など現状の運営の中で見直せるものを様々な角度から少



認していく事が重要。恐れるべき対象は人ではなくウイルスです。病気、不安、差別などの様に考えるべきか文部科学省の動画で確認しました。

常任議員会 教育長講話

令和2年7月11日(土)第2回常任議員会に於いて、葛西教育長にお越し頂き、「四日市市の教育について」のお話をして頂きました。四日市市の教育の現状、教育施策、新しい生活様式を踏まえてをテーマに具体的にお話しして下さいました。

臨時休業中でも学習を継続出来る環境整備などの取り組みに、コロナ禍の終息の目処が立っていない今、保護者は期待を寄せています。新しい生活様式に、皆が協力し合い取り組んでいく必要性を感じた講話でした。

PTA会員寄稿

今年度は、今まで毎年やってきた行事が、いくつも中止・縮小開催となりました。悩むことが多かった一方、手間や作業が大幅に減ることで、PTA役員としても時間的・体力的負担が軽くなったのも事実です。「ずっとやってきたから」「毎年こういう形だから」という伝統は、守ることに価値があるかもしれません。しかしそれが、受け継ぐ人の大きな負担となったり、あまりにも時代に合わなくなった時には、変えていく勇気と決断も大切なものです。その伝統そのものを繋げていくために、軸の部分を守りつつ、周辺部分は柔軟に対応を変えていく必要もあるでしょう。そのような視点で見直してみると、昨年起きたことは悪いばかりではありません。子供の数が減っている中で、PTA活動を「面倒でやりたくないもの」「役員は負担」といった感覚ではなく、シングル家庭や介護者を抱える家庭でも、気軽に協力できる形に変えていけるチャンスでもあったのではないのでしょうか。なくなっても誰も困らなかつたもの、体裁を整える目的でしかなかったもの、実際に子供のためにはなっていなかったものが、浮き彫りになったと感じている親御さんも多いのです。次年度からの活動を見直し、大切に守っていくもの、中止・縮小が適切であるもの、長期的検討が必要なもの、柔軟に、そして実態に正直に、大人の事情を優先することなく考えていく機会とすることが、2020年度をただ不運な1年として終わらせず、大切に活かしていける形だと考えています。



令和2年11月13日(金)あさけプラザに於いて令和2年度第1回北部ブロック会を開催しました。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、受付を3ヶ所・部屋を3部屋設け、子ども園幼稚園・小学校・中学校に分けて行いました。「コロナ禍を踏まえたうえで」のPTA活動についてをテーマに作成したアンケートに各会長が回答した物を集計して後日配布しました。また、第35回三重県幼小中PTA広報紙コンクールの結果、富洲原小・羽津北小が中日新聞社賞、大矢知興小が佳作を受賞され表彰しました。お忙しい中お集まり頂き有難うございました。

令和2年11月12日(木)常磐小学校に於いて第1回中部ブロック会を開催しました。3密を避ける為、体育館で事前に作成したアンケートを実施し、後日集計した物を配布しました。コロナ禍を踏まえたうえでのPTA活動は、行事をスリム化したり、広報紙に載せる写真撮影がままならない状況なので、地域の方々とのつながりを撮影したりと、各校工夫してコロナ禍の中でも出来る事すべき事を模索して活動されています。また、第35回三重県幼小中PTA広報紙コンクールに於いて、川島小学校が県PTA連会長賞、桜中学校が優秀賞を受賞され表彰しました。お忙しい中お集まり頂き有難うございました。頂戴致しましたご意見は今後の活動に活かしていきたいと思っております。

令和2年11月13日(金)南部ブロックは感染症防止対策をした上、密にならない様に三浜文化会館で開催しました。事前に作成したアンケートを実施しました。「コロナ禍を受けて新たに活動されてますか」の問いに対しては、自分新聞の掲示や子供プロフィールを作成しつながら作った幼稚園や、会わない様に電話やSNSを活用することで会議が減った小学校、体育祭や文化祭をライブ配信した中学校がありました。ブロック会に対しても様々な意見を頂き今後の活動に活かしていきたいと思っております。今の状況がいままで続くかわかりませんが、新しい生活様式の中で出来るPTA活動を模索していきたいと思っております。お忙しい中そして大変なお集まり頂き有難うございました。

北部ブロック会

中部ブロック会

南部ブロック会

三重県PTA連合会からのお知らせ

令和3年3月27日(土)午前10時05分～11時00分、三重テレビにて「三重県PTA連合会70周年記念特別番組「すこいやんか」三重県の子ども達」が放送されます。こちらの番組では、各都市PTAの紹介や、四日市市内の子ども達や学校が多数出演されています!!皆様ぜひご覧下さい。

編集後記

多くの方々のご協力のおかげで、本年度も「市P連ニュース」を無事発行することができました。この発行にこぎつけるまで、例年では考えられない紆余曲折がありました。言うまでもなく、新型コロナウイルス感染拡大による、諸々のイベントの中止です。予定していた紙面構成の大幅変更を余儀なくされました。例えば、2020年、私たちは、仕事や生活の色々な場面から我慢や変更を強いられること、なんやか、で「できること」を見出し歩んできたように思います。PTA活動もまた、「例年通り」にはいかないからこそ、「本当に必要なこと、本当にすべきこと」を精査し、新たなあり方を探ることができたのではないのでしょうか。まだまだ、先の見えない状況ではあります。子どもたちのために「PTA」の理念と、これまで培ってきた、人と人とのつながりを大切にしていけば、明るい未来は必ず訪れると確信しています。最後にありますが、この紙面を作成するにあたり、たくさんの方々に協力いただきましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

